

御浜町新統合小学校及び統合中学校新築工事
基本・実施設計業務委託プロポーザル方式 審査結果

1 特定結果

特定者 : 株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス

2 審査経過

(1) 概要

御浜町の小中学校を取り巻く状況は防災上の懸念、校舎の老朽化、急激な少子化の進行などが深刻な課題となっています。そのような状況の中、第6次御浜町総合計画前期基本計画に基づき「御浜町立小・中学校適正配置基本計画」を策定し、本町立小・中学校の適正配置の実現に向けて取り組んできました。御浜町立小・中学校適正配置基本計画では「神志山小学校」、「御浜小学校」、「阿田和小学校」の3校、「御浜中学校」、「阿田和中学校」の2校をそれぞれ統合し、さらに防災上の懸念や校舎老朽化、少子化の進行などの課題に対応するため、できるだけ早急に新校舎（施設一体型の小学校・中学校）を建設することとなりました。本業務は御浜町の教育大綱を踏まえ、安全で安心な教育環境の整備と本町立小・中学校の適正配置を推進し、新しい時代に即した学校教育の充実に取り組み魅力ある学校整備を進めるために高い技術力、創造性、経験などを有する設計者を選定できる公募型プロポーザル方式を実施しました。

(2) 第一次審査

参加申込のあった7者のうち、参加資格を有する6者から提出のありました技術提案書（一次審査用）について、技術者の業務実績等に対する採点（絶対評価）や業務の実施体制及び建築計画の基本方針に対する技術提案による採点（技術力評価）を行い、技術提案書（二次審査用）の提出者（5者）を選定しました。

(3) 第二次審査（技術提案書の特定）

選定全5者から提出された技術提案書（二次審査用）とそれに基づくヒアリングについて審査を行いました。

まず技術提案書では、①建築計画「御浜町の自然や文化を活かし、小中一貫校として9年間を見通した教育の特色を活かすためのハード面での利便性や、小中が混在して生活する上での安全性及び災害時の避難施設を想定した機能を確保した建築計画について」、②敷地利用計画「敷地形状や周辺環境に調和し、利用者の安全で分かりやすい動線を考慮しつつ、学校施設としての防犯やセキュリティ対策にも配慮した敷地利用計画について」、③環境配慮「環境負荷及びライフサイクルコストの低減や、維持管理に配慮するとともに、ZEB Ready を目標とした省エネ化の提案について」の3つの特定テーマのそれぞれにおける「提案の的確性」、「提案の独創性」、「提案の実現性」について各審査委員による採点（技術力評価）を行いました。

ヒアリングでは、技術提案書に関する説明及び質疑回答における「専門性及び取組意欲」、「質問に対する応答性」について各審査委員による採点（技術力評価）を行いました。

技術提案書（二次審査用）、ヒアリングそれぞれの各審査委員採点の算術平均値と見積価格評価の合算値を第二次審査の技術評価点としました。

第一次審査と第二次審査の評価点の合計が最も高かった D 社（株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス）の技術提案書（二次審査用）を特定し、同者を特定者としました。

採点項目	配点	A社	B社	C社	D社	E社	
		評価点	評価点	評価点	評価点	評価点	
第一次審査	100.0	85.5	79.6	83.8	95.7	83.8	
第二次審査	技術提案書	150.0	93.2	101.7	85.6	117.0	98.2
	特定テーマ(1)	70.0	43.6	49.0	38.7	55.4	43.8
	特定テーマ(2)	50.0	32.0	32.3	28.7	40.0	33.6
	特定テーマ(3)	30.0	17.6	20.4	18.2	21.6	20.8
	見積価格	5.0	3.1	5.0	0.0	3.1	3.9
	ヒアリング	45.0	28.8	34.5	26.5	37.1	32.5
	専門性及び取組意欲	25.0	15.7	18.5	15.7	20.0	17.1
	質問に対する応答性	20.0	13.1	16.0	10.8	17.1	15.4
	第二次審査計	200.0	125.1	141.2	112.1	157.2	134.6
合計	300.0	210.6	220.8	195.9	252.9	218.4	
特定結果					特定		

3 講評

(1) 特定者【D 社（株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス）】の提案

建築計画については校舎と体育館、給食センターの3棟で構成され、校舎はシンプル形状の3階建てで、フロー構成としては1、2階が小学校、3階に中学校の学年ゾーンが設定され、中央に廊下や図書室が一体となった3層空間（ラーニングコリドー）が提案され、各階が緩やかに繋がり、一貫教育を活かした教育のための空間が設けられています。一方、将来的な児童生徒数の変化に対応した学習スペースの面積の最適化や、児童生徒だけでなく教職員の職場環境にも配慮した提案となっています。

敷地利用計画についても、利用者動線の前面道路側への集約化や造成レベルについて、搬出土を抑える合理的な設定の提案がなされており、環境配慮についても、イニシャルコスト削減のためのシンプル・コンパクトな校舎の提案や中間期における自然を活かした検討がなされています。

全体的に提案が的確かつ実現性の高い優れたものでした。また、ヒアリング時における提案についての説明や質疑応答についても的確でした。以上の点を総合的に検討した結果、最優秀として特定することとなりました。

(2) 総評

今回のプロポーザル（第二次審査）に参加された5者はいずれも学校建築に関する深い経験、優れた知識・技術を有する設計者であり、提出された技術提案書はいずれも提案課題をよく読み込んだ優れた内容でした。いずれの案を採用しても魅力的な小・中学校が実現することを期待させる提案であり、順位付けをすることは難しい作業でしたが、地域特性や施設計画に対する「提案の的確性」、「提案の独創性」、「提案の実現性」の高さなどを中心に技術提案書、プレゼンテーション・質疑応答の内容を評価して厳正に審査を行い、最も評価の高い設計事務所を特定しました。

最後に、短い準備期間にも関わらず、多大な労力を注ぎ意欲的な提案をしていただきました参加者の皆様の熱意と誠意ある対応に、心より感謝を申し上げます。

御浜町新統合小学校及び統合中学校新築工事
基本・実施設計業務委託プロポーザル方式
技術審査委員会
委員長 川口 淳